

2013年8月20日

樹木の直接ネット巻後の残存数

御杖村(フランシスコの山)フィールドにおいて、2008年4月に植樹した樹木で生き残った樹木(60本)と2013年5月に植樹した樹木(40本)の合計100本のうち、前者を2012年8月に後者を2013年5月にシカ除けネットで直接巻いたが、2013年8月時点でその効果を見るために残存数を調査した。

その結果、93本が残存し、7本が何かの理由で枯死していた。

今回のネットで直接樹木を巻く方法はシカの食害を全く受けず、極めて優れた方法であることが証明された。

枯死した7本はシカの影響は考えられなかった。(周りの木や雑草による日照不足)

ネットで巻いた100本の樹種名と残存数、枯死数を下記表に提示した。

樹種名	残存数	枯死数
クリ	16本	1本
ケヤキ	6本	
ミズナラ	16本	
クヌギ	10本	
ムラサキシキブ	6本	
アカシデ	2本	
クマシデ	1本	
ガマズミ	5本	1本
タムシバ	1本	
エゴノキ	1本	
サワフタギ	1本	
コナラ	26本	3本
名前不明	2本	2本
合計	93本	7本

以上のことから、今後の植林でシカの食害を防ぐ方法としては、樹木をネットで直接巻く方法が効果的であることが分かった。

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会
御杖村フィールド 大川英登